

2026年10月18日(日)

1. 特別講演5 9:00～10:00 第1会場(キャメリアホール1F)

座長：江口 真理子(愛媛大学大学院 医学系研究科 小児科学)

演者：村松 一洋(自治医科大学 医学部 小児科学)

遺伝子治療時代における脊髄性筋萎縮症 ―重症心身障害医療のパラダイムシフト―

2. 教育講演7(看取り・ACP) 9:00～10:00 第2会場(企画展示ホール1F)

座長：堀内 伊作(南愛媛療育センター 小児科)

演者：船戸 正久(社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター 小児科)

看取り、ACPを学ぶ ―重症心身障害児者と家族に寄り添う意思決定支援―

3. 特別講演9 9:00～10:00 第3会場(コミュニティプラザ3F大会議室)

座長：重見 律子(松山市民病院 小児科)

演者：公文 和子(シロアムの園)

ケニア・シロアムの園で出会ったいのち、重症心身障害医療の原点

4. 特別講演6 10:10～11:10 第1会場(キャメリアホール1F)

座長：大藤 佳子(ゆりかごファミリークリニック 小児科・内科)

演者：中嶋 弓子(東京おでかけプロジェクト)

難病の子どもと家族が教えてくれたこと

5. シンポジウム3(てんかん) 10:10～12:10 第2会場(企画展示ホール1F)

重症心身障害児者の難治てんかんをどう治療するか

―エキスパートの医師たちからの臨床知を伝承する―

座長：遠山 潤(国立病院機構 西新潟中央病院 神経小児科)

座長：元木 崇裕(愛媛大学大学院 医学系研究科 小児・思春期療育学講座)

(1)須貝 研司(社会福祉法人 三篠会 重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎 小児科)

重症心身障害児者の難治てんかんに対する従来型抗てんかん発作薬の戦略的活用

(2)吉永 治美(国立病院機構 南岡山医療センター)

難治てんかんに対する新規抗発作薬の使い方

(3)飯田 幸治(広島大学病院 てんかんセンター)

難治てんかんに対する外科的治療の適応判断

(4)中川 栄二(国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部)

重症心身障害児者の難治てんかんの総合戦略 個別化を踏まえた治療目標の設定

6. シンポジウム4(家族支援) 10:10～12:10 第3会場(コミュニティプラザ3F大会議室)

家族を孤立させない在宅家族支援

座長：英 早苗(一般社団法人 在宅療養ネットワーク)

座長：渡部 尚美(徳島県医療的ケア児等支援センター)

(1)玉崎 章子(社会医療法人同愛会 博愛こども発達・在宅支援クリニック)

医療的ケア児に起こった2つの事例を振り返る

(2)村 一浩(認定特定非営利活動法人 みかんぐみ)

当事者と行政が協働するピアサポートで孤立を防ぐ

(3)井上 奈緒美(おにぎりの会、四国大学大学院 人間生活科学研究科 人間生活科学専攻修士課程)

子どもを孤立させない居場所づくり ―徳島県の子ども食堂―

(4)亀井 智泉(長野県医療的ケア児等支援センター)

チームで取り組む家族支援 ―誰も孤立させない長野県の仕組みづくり―

7. ファッションショー 11:30 ~ 12:20 第1会場(キャメリアホール 1F)

重症心身障害児者ときょうだいによるファッションショー

企画・立案・運営 認定NPO法人 ラ・ファミリエ

「愛・絆・共」

8. ランチョンセミナー3 12:30 ~ 13:20 第2会場(企画展示ホール 1F)

(パーカッションネア・ジャパン株式会社と共催)

座長：竹本 潔(大阪発達総合療育センター/南大阪小児リハビリテーション病院)

演者：石川 悠加(国立病院機構 北海道医療センター 神経筋/成育センター 小児神経科)

肺内パーカッションベンチレータ(IPV)のニューモデル活用へ向けて

9. ランチョンセミナー4 12:30 ~ 13:20 第4会場(コミュニティプラザ 2F 第1・第2会議室)

(バイオジェン・ジャパン株式会社と共催)

SMA(脊髄性筋萎縮症)治療の新たな可能性 ―重症患者・家族の思いと希望に寄り添う―

座長：新宅 治夫(大阪公立大学大学院 医学研究科 地域周産期新生児医療人材育成寄付講座)

演者：石垣 景子(東京女子医科大学病院 小児科 ゲノム診療科)

SMA治療の新たな可能性 ―個別化医療がもたらす患者と家族の希望―

演者：川村 健太郎(医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ)

脊髄性筋萎縮症の治療と在宅医療から考える重度障害者の社会参加と自立

10. 特別講演7(当事者講演) 13:30 ~ 14:30 第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：河邊 美香(医療法人 石手内科 石手ファミリークリニック 小児科)

演者：上甲 にか(アクセシビュートーマネジメント)

私のあゆんできた道、そしてこれから

11. シンポジウム5(摂食嚥下) 13:30 ~ 15:50 第2会場(企画展示ホール 1F)

重症心身障害児者の最適な摂食・栄養のマネジメントを目指して

座長：綾野 理加(昭和医科大学 歯学部 小児成育歯科学講座)

座長：山川 まりこ(ゆりかごファミリークリニック)

(1)曾根 翠(東京都立東大和療育センター)

重症心身障害児における摂食嚥下機能発達の特徴と対策

(2)益田 慎(県立広島病院 小児感覚器科)

耳鼻咽喉科医が重症心身障害児者の嚥下障害をみたら

(3)椎名 英貴(社会医療法人大道会 森之宮病院、兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター、
社会医療法人大道会 ボバース記念病院)

重症心身障害児者の経口摂取の支援(言語聴覚士として機能障害の視点から)

(4)牛尾 実有紀(社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター)

食べることを支える認定看護師の視点から

(5)小林 弘治(社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター 医務部栄養科)

重症心身障害児者における摂食嚥下障害と管理栄養士の役割

12. シンポジウム6(リハビリテーション) 13:30 ~ 15:50 第3会場(コミュニティプラザ 3F 大会議室)

明日からのリハビリテーションの実践へのヒント

臨床推論を紐解く ―重症心身障害児者の「主体的に生きる」を支援するには―

座長：鈴木 郁子(光の家療育センター 小児科、リハビリテーション科)

座長：藤田 正明(伊予病院 小児科、リハビリテーション科)

(1)木下 裕俊(くまもと江津湖療育医療センター 小児科)

主体性をどう支えるか ―医師が整え、リハが育てる―

(2)大嶋 志穂(社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 四天王寺和らぎ苑)

重症心身障害児の小さな身体表出を手がかりに「動く」「関わる」「楽しむ」を支える

(3)小玉 武志(北海道済生会みどりの里)

重症心身障害児者の楽しみとなる生活と活動における作業療法

(4)濱田 恵里子(西宮市立こども未来センター 診療事業課)

「主体的に生きる」を支える ST の役割 相互コミュニケーションを通して気づき合う

(5)若松 育子(社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター)

重症心身障害児者の心について考える ー意思を汲み取り、意思決定支援を行うプロセスー

指定発言 1 鈴木 郁子(光の家療育センター 小児科、リハビリテーション科)

指定発言 2 高塩 純一(びわこ学園医療福祉センター草津 リハビリテーション課)

指定発言 3 岸本 光夫(重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎 リハビリテーション部)

指定発言 4 虫明 千恵子(東京都立北療育医療センター 訓練科)

指定発言 5 郷間 英世(姫路大学 看護学研究科)

13. 特別講演 8 14:40 ~ 15:40 第1会場(キャメリアホール 1F)

座長：石井 光子(千葉県千葉リハビリテーションセンター愛育園)

演者：笹月 桃子(早稲田大学 人間科学学術院)

重症心身障害児者の声を預かることについて ー意思決定支援をめぐる問いと実践ー

14. 市民公開講座 16:20 ~ 17:20 第1会場(キャメリアホール 1F)

声にできない子どもの思いを、どう受け止めるか ー重症心身障害医療の意思決定支援ー

座長：鈴木 郁子(光の家療育センター 小児科、リハビリテーション科)

座長：若本 裕之(愛媛県立子ども療育センター 小児科)

演者：船戸 正久(社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター 小児科)

医療型障害児入所施設の意思決定支援と ACP の実際

演者：笹月 桃子(早稲田大学 人間科学学術院)

本人にとっての最善の医療・ケアを見出す協働意思決定の可能性

15. 一般演題

■口演 5 9:00 ~ 15:40 第4会場(コミュニティプラザ 2F 第1・第2会議室)

9:00 ~ 10:10 医療的ケア 座長：奥田 裕美(国立病院機構 山口宇部医療センター 小児科)

O16-1 徳島医療的ケア児等支援センターの相談支援実績に基づく現状報告と課題

徳島県医療的ケア児等支援センター

中野顕作 渡部尚美

O16-2 胃瘻チューブの外固定板を接着固定することで皮膚状態の改善が見られた事例報告

社会福祉法人希望の家 療育センターきぼう

青木優介 阿左美健一 半田常男 野田真一郎

O16-3 重症心身障害児者における気管切開後の長期経過とカニューレ管理の問題

社会福祉法人 愛正会 愛正会記念 茨城福祉医療センター 外科・小児外科

平井みさ子

O16-4 重症心身障がい児研修を受ける小児看護経験のない看護師の抱える困難

社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

谷口梨絵

O16-5 NP によるエコーガイド下末梢静脈確保 ー抗菌薬治療継続が可能となった一例ー

¹ 社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院 診療看護師室 診療看護師(NP)

² 社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院 サルビア

新澤 薫¹ 大石直之¹ 上石晶子² 酒井章次²

- O16-6 重度心身障害児者の心拍数モニタリングの有用性
社会福祉法人 東大寺福祉療育病院
高橋幸博 三木直樹 金 一 脇田絵美 中谷勝利 吉田由美 宮崎和歌
- O16-7 学校における医療的ケア児への連携 – 学校看護師と養護教諭のアンケート調査から –
社会福祉法人甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター 在宅支援課
中本昌代 山本美保 田中勝治

10:20 ~ 11:30 摂食嚥下障害 座長：佐野 のぞみ(社会医療法人童仁会 池田病院 小児科)

- O17-1 完全側臥位法での摂食・嚥下訓練で食事の楽しみを取り戻した事例
社会福祉法人みなと舎 ライフゆう
柏木慶子 有里裕生
- O17-2 嚥下機能分類システムの活用 – 当センターの重症児者に対するアルゴリズムの改訂と検討 –
社会福祉法人甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター リハビリテーション室
堀岡愛音 小林成満
- O17-3 重症心身障害児者施設における窒息リスク評価方法の確立に向けた取り組み
東京都立東大和療育センター
長谷川雅也
- O17-4 コロナ禍を経た摂食教室の再構築 – ICT 活用による個別支援と継続看護の検討 –
千葉県千葉リハビリテーションセンター
津島久美 青木ゆかり 塩谷友希子 石井光子 田邊 良
- O17-5 小児の摂食訓練継続による変化と多職種展開
社会福祉法人 あきの会 虹の家
畝中千歩 草田枝吏子
- O17-6 早期摂食嚥下リハビリテーション – 重症新生児仮死蘇生後月齢4か月児の一例 –
¹ 重症心身障害児学園・病院バルツァ・ゴードル リハビリテーション科
² 重症心身障害児学園・病院バルツァ・ゴードル 地域連携室
³ 重症心身障害児学園・病院バルツァ・ゴードル 小児科
中澤優子¹ 河野智美² 羽多野わか³
- O17-7 1～2歳重症児の嚥下と味わう力を育む事例 – 呼吸とどのひろがり –
NPO 法人ひろがり
丹羽陽一 石黒 光 岩間智博

11:30 ~ 12:20 泌尿器関連 座長：鎌田 ゆきえ(愛媛大学医学部附属病院 小児科)

- O18-1 排尿障害の改善に抗コリン薬負荷の軽減が有効であった重症心身障害者の3名
¹ 社会福祉法人 北海道療育園 診療部 ² 社会福祉法人 北海道療育園 診療部 薬剤科
徳光亜矢¹ 三浦崇秀² 佐々木満ちる¹ 浅井洋子¹ 斉藤 剛¹ 岩佐諭美¹
鳥井希恵子¹ 土井 敦¹ 平澤雅敏¹ 竹田津未生¹ 楠 祐一¹ 岡 隆治¹ 林 時伸¹
- O18-2 「そのバルン必要ですか？」長期の尿道留置カテーテルを抜去し、QOL が向上した事例
¹ 社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター 看護部
² 社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター 泌尿器科
安藤史恵¹ 上野由美子¹ 島田憲次²
- O18-3 尿管ステント留置利用者における尿道留置カテーテル抜去の試み
社会福祉法人甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター
清間 栄 山下朋代 森本里佳 三反田優子 田中勝治 島田憲次 古月大樹
- O18-4 腹部陰嚢水腫を伴い下部尿路機能評価が困難な症例での尿道留置カテーテル抜去の試み
¹ 社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター 看護部
² 社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター 泌尿器科
木下伶美¹ 上野由美子¹ 島田憲次²

- O18-5 繰り返す有熱性尿路感染症 – 隠されている原因はないか? –
¹ 社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター 看護部
² 社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター 泌尿器科
 田口 遥¹ 上野由美子¹ 島田憲次²

13:30 ~ 14:30 地域連携・職種間連携 座長：元木 崇裕(愛媛大学 小児科)

- O19-1 医療型障害児入所施設と急性期病院との連携に向けた課題の明確化
 山梨県立あけぼの医療福祉センター
 松本絵里
- O19-2 重症者と農業系高校生が付き添い食支援用農作物を育てる取り組みとその効果
 横浜市立大学大学院 医学研究科 小児看護学分野
 諏訪亜季子
- O19-3 地域連携と遠隔医療による連携の実践
 高知大学 医学部 外科学講座 小児外科学
 伊勢一哉
- O19-4 重症心身障害児者施設ボツリヌス治療における ADL 評価表を用いた効果の実感
 社会福祉法人 枚方療育園
 井川輝星
- O19-5 当施設で小児診療看護師(NP)が末梢挿入型中心静脈カテーテルの挿入と管理を行った1例
¹ 社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院 診療看護師室 診療看護師
² 社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院 サルビア
 大石直之¹ 新澤 薫¹ 上石晶子² 酒井章次²
- O19-6 重症心身障害児者に対する抗コリン薬リスクスケールを用いた減薬提案
¹ 社会福祉法人 北海道療育園 診療部 薬剤科 ² 社会福祉法人 北海道療育園 診療部
 三浦崇秀¹ 徳光亜矢² 松野朋哉¹ 林 時仲²

14:40 ~ 15:40 てんかん・神経疾患関連・外科治療関連

座長：吉川 清志(土佐希望の家医療福祉センター 小児科)

- O20-1 50歳前後の成人 Lennox-Gastaut 症候群へのフェンフルラミンの使用経験
 社会福祉法人甲山福祉センター 西宮すなご医療福祉センター 小児科
 山下朋代 渡邊早苗 山元康敏 谷本和哉 森本里佳 松下彰宏 稲田 浩 田中勝治
 服部英司
- O20-2 ビデオ脳波記録中にてんかん発作が捕捉された重症心身障害者
¹ 独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院 ² 独立行政法人 国立病院機構 三重病院
 麻生幸三郎¹ 落合 仁¹ 野口雅弘¹ 村田博昭²
- O20-3 長期入所施設における重症心身障害児者の抗発作薬の使用実態と課題
¹ 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター
² 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 重症心身障害児施設
 富井聡一¹ 田辺仁彦^{1,2} 辻 恵^{1,2}
- O20-4 当院入所者における抗痙攣発作薬と精神系薬剤の使用実態の検討
 全国重症心身障害児(者)を守る会 あしかがの森足利病院
 藤田之彦 荒井美穂 横山桃子 西村 淳 久保達也 小平隆太郎 道廣成実
- O20-5 重症心身障害児者に対して特注気管カニューレを使用した36例の経験
¹ 愛知県医療療育総合センター中央病院 小児外科 ² あいち小児保健医療総合センター
 大島一夫¹ 横田一樹¹ 毛利純子²

- O20-6 高度吞気症に対して胃食道分離術を施行した1例
¹ 独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 小児外科
² 特定非営利活動法人 中国四国小児外科医療支援機構
浅井 武^{1,2} 新居 章¹ 浅井芳江^{1,2} 宮田 豪^{1,2}

■口演 6 9:00 ~ 15:50 第5会場(コミュニティプラザ2F 第4・第5会議室)

9:00 ~ 10:00 栄養関連 座長：永江 彰子(びわこ学園医療福祉センター草津 小児科)

- O21-1 重症心身障害者の食道インピーダンス pH 検査による腹腔鏡補助下胃瘻造設術前後の評価
久留米大学 外科学講座 小児外科部門
升井大介
- O21-2 重症心身障害児者におけるレボカルニチン内服量の検討
独立行政法人 国立病院機構 福岡病院
井形優平 澤野 徹 曳野俊治
- O21-3 長期の成分栄養剤投与により必須脂肪酸欠乏に伴う慢性湿疹を呈した重症心身障害児
社会福祉法人島根整肢学園 西部島根医療福祉センター 小児科
松村 渉
- O21-4 重症心身障害児者におけるビタミンD製剤が骨密度に及ぼす効果
独立行政法人 国立病院機構 福岡病院
曳野俊治 澤野 徹 井形優平
- O21-5 粉末寒天製剤投与時の経腸栄養チューブ閉塞予防に対するとろみ剤添加の有効性の検証
社会福祉法人 枚方療育園 枚方総合発達医療センター
源野光寿朱 上村由美 元 和美 浦野真貴 浅香知美
- O21-6 入所重症心身障害児者における米麹甘酒摂取による腸内環境への影響
¹ 美作大学 生活科学部 食物学科 ² 岡山県立大学 保健福祉学部 栄養学科
³ 医薬基盤・健康・栄養研究所 ヘルス・メディカル微生物研究センター
⁴ 大阪公立大学大学院 獣医学研究科
⁵ 医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター
⁶ 大阪成蹊短期大学 栄養学科 ⁷ 社会福祉法人 旭川荘 旭川荘療育・医療センター
⁸ 大阪大学 蛋白質研究所
影山鈴美¹ 井上里加子^{2,3} 細見晃司^{3,4} 朴 鐘旭⁵ 弓岡仁美^{3,6} 澁谷徳子⁷ 岡 伸恵⁷
花田華名子⁷ 神崎 晋⁷ 水口賢司^{5,8} 國澤 純³ 入江康至²

10:10 ~ 11:10 教育関連 座長：船橋 篤彦(広島大学大学院 人間社会科学研究科)

- O22-1 重症心身障害児者の吸入療法の研修前後における看護師の認識の変化
社会福祉法人 旭川荘 旭川荘療育・医療センター
美甘綾子
- O22-2 実習指導者が看護学生に重症心身障害児者への看護を伝える視点
社会福祉法人 旭川荘 旭川荘療育・医療センター
石田里奈
- O22-3 「わざ」を伝える営みとしての雑談に視点においた倫理研修
¹ 社会福祉法人 旭川荘 旭川荘療育・医療センター
² 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科
³ 東京都立府中療育センター 看護科
仁宮真紀¹ 川名るり² 山本和佳子³ 草深亜紀子³ 埴 健³
- O22-4 教育専任部署を持たない組織における看護管理者の教育自分事化を促す研修設計の実践
社会福祉法人 十愛療育会 横浜療育医療センター
黒川希代美 上松康子

- O22-5 特定技能外国人の記録力向上に向けた日本語研修および理解度テストの実施報告
社会福祉法人 三篠会 重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎
吉澤政哉 山村 俊
- O22-6 業務課題を自分ごととして捉える職員育成に向けた QC 活動の取り組み
社会福祉法人 三篠会 重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎
林 弘也 鈴木菜弥

11:10 ~ 12:10 福祉・社会制度・統計・データ関連

座長：横関 恵美子(四国大学 看護学部 看護学科)

- O23-1 施設外療育の集団環境が重症心身障がい児の発達に及ぼす影響
社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター
国本愛合子 梶原 綾 牛居万美
- O23-2 長期入院児を受け入れている重心施設の課題
社会福祉法人大同宏緑会 重心施設にじいろのいえ
水野美穂子 田村 泉 大瀧 潮 林 路子
- O23-3 GMFM を用いた肢体不自由児の成人期における粗大運動機能についての検討
¹ 社会福祉法人 芳友 神戸医療福祉センターひだまり リハビリテーション科
² 神戸大学大学院 保健学研究科
³ 社会福祉法人 芳友 神戸医療福祉センターにこにこハウス リハビリテーション科
木原健二^{1,2} 伊藤 蘭³ 河崎洋子¹
- O23-4 重症心身障害児者の最高到達運動機能と医療介入の有無・時期との関連性
社会福祉法人 北海道療育園
浅井洋子 佐々木満ちる 岩佐諭美 齊藤 剛 鳥井希恵子 土井 敦 平澤雅敏
竹田津未生 楠 祐一 岡 隆治 林 時仲
- O23-5 療育医療施設における医療の質指標(QI)導入の現状と課題
東京都立北療育医療センター
檀 直彰 今井祐之 南谷幹之 早川美佳 柴田 薫 古山明子
- O23-6 重症心身障害児・者施設入所者の悪性新生物診断の契機と予後
社会福祉法人 札幌緑花会 大倉山学院
河野 修 出店正隆

13:30 ~ 14:40 看護ケア1 座長：松本 典子(愛媛県立子ども療育センター 看護部)

- O24-1 多面的介入により呼吸状態の安定と経口摂取向上が得られた経鼻胃管留置児の一例
社会福祉法人 信濃医療福祉センター
中村伸久
- O24-2 A 施設における骨折予防 - 骨折リスク評価スケールの構築と臨床現場への導入 -
国際医療福祉リハビリテーションセンター なす療育園
本澤隆仁 小笠原悠人
- O24-3 特定看護師の再評価とケア標準化後に改善した肛門周囲の IAD の一例
社会福祉法人 三篠会 重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎
金子清貴
- O24-4 アテトーゼ型脳性麻痺患者の気管切開術後におけるコミュニケーション方法の再獲得
独立行政法人 国立病院機構 長良医療センター
井上翔太
- O24-5 上肢拘束を伴う生活からの解放を支えた看護実践
社会福祉法人 三篠会 堺市立重症心身障害者(児)支援センター
藤本規子 仲地優子 宮地知美 奥田祥司

O24-6 人工呼吸器を装着している在宅重症心身障害児の気管内吸引における訪問看護師の判断
¹NPO 法人 レスパイト・ケアサービス 萌 ²横浜市立大学大学院 医学研究科
松尾大地¹ 佐藤朝美²

O24-7 重症児者の施設における看護師の心理的安全性の構成要素について
社会福祉法人 鶴風会 東京小児療育病院 看護・生活支援部 看護・生活支援科
佐久間広大

14:40 ~ 15:50 看護ケア 2 座長：水口 照美(ゆりかごファミリークリニック)

O25-1 急性期病棟に勤務する看護師が重症心身障がい児・者のケアを行う上で必要な看護情報
地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院
加藤貴俊

O25-2 分泌物の咯出を促すとされる側臥位を保持できるポジショニング
東京都立府中療育センター 看護科
石川礼子

O25-3 痰の自己咯出が困難な重症心身障害者に対するポジショニング
東京都立府中療育センター 看護科
梅本真奈

O25-4 重症児・者の口腔乾燥に対する洗浄・保湿ジェル併用の効果
社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院 重度障害総合支援センタールルド
木村千春

O25-5 重症心身障害児のその人らしさを大切にした看護の実態
愛媛県立子ども療育センター
木下綾華 矢野菜月

O25-6 F 病院重症心身障害児者病棟における褥瘡対策の現状
独立行政法人 国立病院機構 福岡病院
中村恵美 太田和子

O25-7 経鼻胃管留置を選択せず経口摂取を継続した一例 - 嗜好に配慮した形態調整を通して -
社会福祉法人 びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター草津
石田 碧

■ポスター 5 9:00 ~ 11:12 ポスター会場 D (コミュニティプラザ 2F ロビー)

9:00 ~ 9:24 統計・データ関連・災害

座長：藤田 正明(伊予病院 小児科、リハビリテーション科)

P23-1 長期療養中の重症心身障害児者をもつ家族のニーズの調査
独立行政法人 国立病院機構 柳井医療センター
前田佳織 渡邊陽子 三木玲子 田村陽奈 吉坂 凜 橋本亜紀 竹村和美 西藤美恵子

P23-2 重症心身障害児者研究の国際比較 - SMID と PIMD の文献動向分析 -
¹摂南大学 看護学部 看護学科 ²大阪公立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科
³社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター
池田友美¹ 鯉坂誠之² 武藤葉子³

P23-3 医療的ケア児支援センターと支援学校の協働による防災×電池デイキャンプの取り組み
¹大阪府医療的ケア児支援センター ²大阪母子医療センター 新生児科
³大阪母子医療センター 患者支援センター
望月成隆^{1,2,3} 藤井みどり¹ 香西摩矢子^{1,3}

P23-4 災害時を想定した経管栄養患者における栄養剤供給体制の見直し
社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院
石塚慎一 上野 悠 宮田広善

9:40 ~ 10:22 医療的ケア 座長：横関 恵美子(四国大学 看護学部 看護学科)

- P24-1 高流量鼻カニューラ酸素療法を行った Stickler 症候群の児と母親への訪問看護支援
一般社団法人 えひめ療養支援・看護機構 訪問看護ステーションパブリカ
向井博幸
- P24-2 重症心身障害施設における耳垢栓塞への対応
社会福祉法人 杏嶺会 一宮医療療育センター
中島 務 塩田有香 成田理恵 前田達広 都筑日向子
- P24-3 動ける医療的ケア児のケアコーディネーションに関する文献検討
聖カタリナ大学大学院 看護学研究科
村上あゆみ 川島美保
- P24-4 介護老人保健施設における医療的ケア児者の短期入所事業
青森県小児在宅支援センター
富樫沙緒里
- P24-5 在宅で医療的ケアをしている重症心身障害児者の親の短期入所利用の困難要因
佛教大学大学院 社会福祉研究科
久保雅子
- P24-6 医療的ケア児の保育活動における保育者の戸惑い
長岡崇徳大学 看護学部 看護学科
船岡未恵 永谷智恵
- P24-7 重症心身障害児者の気管カニューレ事故抜去事例に対する介入の実際
独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター
篠原律子

10:30 ~ 11:12 ACP・人生会議 座長：吉川 清志(土佐希望の家医療福祉センター 小児科)

- P25-1 重症心身障害児者への意思決定支援と術後管理にむけた取り組み
独立行政法人 国立病院機構 南京都病院
林 和輝
- P25-2 重症心身障害児・者の意思決定支援 –在宅療養から入院となった事例–
独立行政法人 国立病院機構 富山病院
吉川仁香 宮本あかね 平尾ゆか 金兼千春
- P25-3 「わたしのきもちカード」の有用性について–第4報
¹ 東京都立府中療育センター ² 秋谷潮かぜ診療所
齋藤菜穂^{1,2} 荒谷智子¹
- P25-4 『あんしんノート』を通じて見えた重症心身障害児者家族の思いとスタッフの気づき
東京都立東部療育センター
横山直美
- P25-5 A 重症心身障害児者入所施設における倫理カンファレンスの開催と関連要因
東京都立府中療育センター
島田信幸
- P25-6 医療型障害児入所施設における ACP を通した家族の思い
東京都立北療育医療センター
三浦智加子
- P25-7 A 施設の ACP 導入後3年目におけるスタッフの意識変化に関する実態調査
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター
真木 希